

産業構造審議会保安・消費生活用品安全分科会（第10回）（書面開催）

－議事概要－

1. 書面審議での開催理由：

水素・アンモニア社会の実現に向け、大規模な水素・アンモニア利用を推進する環境整備としての水素・アンモニア保安のあり方等について検討を進めるべく、新たに「水素保安小委員会」を設置することが審議事項であるが、小委員会の設置については書面でも審議を行うことが可能であることから、書面審議を行うこととした。

2. 回答者一覧（50音順）：

岩本委員、大谷委員、小川委員、河嶋委員、倉渕委員、近藤委員、白井委員、白坂委員、菅原委員、曾我委員、竹内委員、三上委員

3. 議題：

産業構造審議会保安・消費生活用製品安全分科会水素保安小委員会の設置について

4. 審議期間

令和5年8月10日（木）～令和5年8月17日（木）

5. 審議結果

議事について書面審議を行った結果、賛成12名、反対0名により、水素保安小委員会の設置が決議された。

なお、委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・エネルギー安定供給、カーボンニュートラル実現に向けて安全で透明性のあるサプライチェーン構築と、再エネの主力電源化とともにグリーン水素の利活用を望む。生活者として、水素の安全性や利便性等の正しい理解や、ESG投資等の醸成を図っていきたいと考える。（岩本委員）
- ・大変重要なテーマと思われる。（倉渕委員）
- ・水素エネルギーの迅速な導入のためにも、保安に関する議論は、社会の認容も含めて喫緊のものとする。（白井委員）

以上